茨社協第４４６号
令和３年５月１３日

各社会福祉施設長　　様

社会福祉法人　茨城県社会福祉協議会
会　長　　森　戸　久　雄
〈印章省略〉

第７１回茨城県社会福祉大会における本会会長顕彰候補者の推薦について（依頼）

本会の事業推進につきましては、日頃からご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、標記大会を令和３年１０月２７日（水）に「ザ・ヒロサワ・シティ会館※」において開催を予定しておりますが、その席上において、本会顕彰規程に基づく「本会会長顕彰」を実施いたします。

つきましては、該当者がいる場合には、下記事項・記載上の注意等にご留意のうえ推薦書を作成し、**貴施設の所在する市町村社会福祉協議会にご提出ください。**また，令和元年度から「施設、団体及び社協職員」「ホームヘルパー」の表彰要件が緩和（年齢要件の廃止等）されておりますので，本会顕彰規程及び同施行細則をご確認ください。

なお、大会の開催については、新型コロナウィルスの感染状況等を見ながら、再度実施のご案内をさせていただきます。

※「ザ・ヒロサワ・シティ会館」は茨城県立県民文化センターの通称です。

記

１　本会会長が表彰する場合（規程第２条）

（１）社会福祉施設の役員であって、役員としての在職期間が１０年以上であること（本会顕彰規程施行細則第２条第１項２号該当）。

（２）社会福祉施設の職員であって、職員としての在職期間が１５年以上であること（本会顕彰規程施行細則第２条第１項３号該当）。

ただし、社会福祉施設の役職員であって、次の各号の一に該当する場合は、表彰から除かれますので、必ず事前に表彰の有無をご確認ください。

①　社会福祉の分野で藍綬褒章又は、黄綬褒章を受けた者
②　厚生労働大臣の表彰を受けた者
③　社会福祉の分野で全国社会福祉協議会会長から表彰を受けた者
④　社会福祉の分野で茨城県知事から表彰を受けた者
⑤　前各号の受賞が判明したとき

（３）社会福祉施設においてボランティア活動を実践している個人又は団体で、活動期間が５年以上であること。ただし、特に功績顕著と認められる場合はこのかぎりではない（本会顕彰規程施行細則第２条第１項６号該当）。

なお、団体に属する個人にあっては、団体活動を離れた個人活動功績に基づいて推薦してください。

2　本会会長が感謝の意を表する場合（規程第３条）

下記の事項に該当する場合に行います。

（1）県内の社会福祉施設に総額１００万円以上を寄付した者。又は、継続して寄付した金額が総額１００万円以上の者。ただし、期間は、概ね５年とする（本会顕彰規程施行細則第３条第１項１号該当）。

（2）県内の社会福祉施設に総額１００万円以上の物品を寄贈した者。又は、継続して寄贈した物品の金額が総額１００万円以上の寄贈者。ただし、期間は、概ね５年とする（本会顕彰規程施行細則第３条第１項２号該当）。

3　推薦方法及び留意事項

（1）推薦書

表彰の場合は別紙様式１、感謝の場合は別紙様式３によりご提出ください（記載上の注意を参照）。

（2）推薦書の作成基準日

令和３年４月１日現在といたします。

（3）推薦書の提出期限

社会福祉施設から市町村社協への推薦締切日は　**令和３年６月１１日（金）**としておりますので、**施設の所在する市町村社会福祉協議会**と十分ご協議のうえ、遺漏のないようご注意ください。

（4）感謝については、当該団体又は施設の役員及びその配偶者と子は、除外します。

本会で県内の団体又は施設への寄付額を集計後、総額１００万円以上となった者について推薦の対象といたしますので、単年（年間）の寄付で**２０万円**以上の者について推薦してください。

4　個人情報の取り扱いについて

本大会の推薦書にかかる個人情報は、本会個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。

「推薦書」に記載された個人情報は、顕彰審査会資料、参加決定通知送付、被顕彰者名簿等、本大会の運営にかかる目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

問い合わせ先
〒310-8586　水戸市千波町１９１８
社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
総務企画部：髙田
℡０２９－２４１－１１３３

【記載上の注意】　特にご留意いただきたいこと

必ず、お読みください。

※推薦書の記載内容が不十分である場合、何度もお問い合わせ等をすることがあり、ご迷惑をおかけすることになりますので、推薦書の記入については、十分ご注意ください。

1　推薦書の作成にあたっては、誤読のおそれのないよう書体に留意すること。
　特に氏名については、楷書で明記するとともに、**ふりがな**を必ず付けること。

2　年齢及び活動期間は、**令和３年４月１日**を基準日として記載すること（個人の場合は生年月日、グループ・団体の場合は設立年月日を記載）。
　ただし、民生委員・児童委員の年齢及び活動期間については、**令和３年１１月３０日**を基準日とすること。
　※個人の年齢は、表彰要件とするものではありませんが、情報としてご記入ください。

3　郵便番号・住所・所在地・電話番号は、**表彰推薦候補者の住所等**を記載すること。
　ただし、グループ・団体は**代表者宅又は所属する団体等の住所等**を記載すること。
　※大会案内状の発送先となりますので、記入間違いのないようにお願いいたします。
　※グループ等の場合、団体名欄に代表者名も記入します。
　（例：千波福祉ボランティア　代表　千波　一郎）

4　役職員の区別で、役員とは、理事長・理事・評議員・監事をいう。
　職員とは、上記以外の者をいう。

5　功績概要は、社会福祉事業に関連のあるものを時系列に、功績ごとに要領よく箇条書きにより記載すること。
　なお、各功績については、在職期間が明確に計算できるよう具体的に記載すること（表彰様式１の８項目の通算年数と同年数とする）。※
　↓

（記載例）

表彰の場合

昭和○○年○月○日～○○年○月○日　○○○○○○○勤務（○年○ヶ月）
昭和○○年○月○日～○○年○月○日　○○○○○○○勤務（○年○ヶ月）
平成○○年○月○日～○○年○月○日　○○○○○○○勤務（○年○ヶ月）
平成○○年○月○日～令和２年４月１日　○○○○○○勤務（○年○ヶ月）
令和２年４月１日～　　現在

※　通算○○年○ヶ月

表彰の場合（ボランティア関係）

＜例　文＞

平成〇〇年〇月から、特別養護老人ホーム〇〇〇にて生活支援の補助ボランティアとして、

月〇回（週〇回）活動している。活動は、毎週火曜・金曜に行われている。

また、本会が主催する各種講座（ボランティア体験事業等）へ年間を通じて（年５回程度）協力しており地域福祉の向上に多大なる貢献をしている。

活動内容・活動期間がわかるように具体的に記入してください。

感謝の場合

令和２年８月　１００万円を〇〇〇に対して寄付

あるいは、

令和２年８月　　**２０万円**を〇〇〇に対して寄付など

（１年間で２０万円以上）

又は、

平成２８年８月　〇〇〇〇〇円を〇〇〇に対して寄付

平成２９年８月　〇〇〇〇〇円を〇〇〇に対して寄付

平成３０年８月　〇〇〇〇〇円を〇〇〇に対して寄付

令和元年８月　　〇〇〇〇〇円を〇〇〇に対して寄付

令和２年８月　　〇〇〇〇〇円を〇〇〇に対して寄付

合　計　〇〇〇〇〇円（５年以内で１００万円以上）

６　表彰歴は、時系列にその内容がわかるように記載すること。

市町村長、市町村社会福祉協議会会長から表彰を受けたものについては、漏れなく記載すること。

（記載例）

昭和〇〇年〇月　〇〇〇〇〇表彰（表彰対象の種類を明記）

平成〇〇年〇月　〇〇〇〇〇表彰（表彰対象の種類を明記）

７　参考事項は、表彰・感謝を決定するうえで参考となる事項について記載すること。

（例）・ボランティア（団体）　発足年月日、会員数等

・ボランティア（個人）　活動開始年月日

・自立更生者　　障害の種類、程度等